

# R&D 現場のための『技術企画』の進め方

～技術者、研究者の成長を加速する企画活動の実践ノウハウ～

【開催要領】 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

日時▶ 2018年 5月9日(水) 10:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム (東京: 麹町)

【ご参加頂きたい方】

製造企業の経営者、技術・開発部門長・マネージャー・リーダー、技術者・研究者、技術・開発企画スタッフ  
特に、下記の課題認識をお持ちの方

- ・自社の未来へ向けた新たな技術を企画したい。企画活動を実践したい
- ・自社の技術マネジメントの考え方・進め方を見直したい。進化させたい
- ・未来を担う中核となる技術者、研究者を育成したい、成長を加速させたい
- ・技術企画を組織として継続的に取り組むためのプロセスをつくりたい

講師 株式会社ケミストリーキューブ 代表取締役 平木肇 氏

講師紹介  
92年筑波大学を卒業、シャープ(株)入社。エンジニアとして先端電子デバイスの研究開発・製品開発・生産技術開発に取り組む。通産省(当時)主幹の次世代研究プロジェクトに参画。99年(株)日本能率協会コンサルティング入社。14年間にわたり、技術経営(MOT)、イノベーションマネジメント、研究開発(R&D)マネジメントを主領域としたコンサルティングに従事。2014年(株)ケミストリーキューブ設立。“技術人材の知恵を、価値を創り出す力に変える”をコンセプトとして、ものづくり企業・技術系企業の技術力・価値創造力の強化と人材の開発を支援している。



【申込方法】 当会ホームページ (<https://www.bri.or.jp>) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

受講料: 1名(税込・昼食代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	41,040円(本体価格 38,000円)	一般	45,360円(本体価格 42,000円)
-----	-----------------------	----	-----------------------

181265-1010 (※) R&D 現場のための『技術企画』の進め方

ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 役	属 職	
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛 E-mail からもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間～10日前まで)に受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: [tamiaki@bri.or.jp](mailto:tamiaki@bri.or.jp)

## ・プログラム・

### ■開催にあたって■

『技術企画』は、これまで培われた自社の技術を踏まえつつ、未来を見据えた骨太な技術を生み出すための重要な取り組みであり、その過程で企業の未来を担う技術者、研究者の成長を加速する組織活動です。しかし、多くの企業では、自社が保有する技術の整理や可視化に終始している、個別の事業や製品のための単発の要素テーマ企画にとどまっている、企画が属人化していて組織的な取り組みになっていないなど、技術企画が十分機能していない状況に悩みを抱えています。本セミナーでは、技術者、研究者が主体となって取り組み、未来を担う技術と人材を生み出すための技術企画をテーマに、組織的に取り組むための進め方とポイントについて、ケミストリーキューブが開発した実践手法をもとに事例を交えて解説します。

### 1. 『技術企画』のコンセプト

- (1) ものづくり企業を取り巻く変化
- (2) イノベーションの時代における R&D への期待
- (3) 事業戦略⇒製品戦略⇒技術戦略の誤り
- (4) 製品企画と技術企画の違い
- (5) 技術企画は個別の要素開発テーマ企画ではない
- (6) 技術企画は「2軸」の組織活動
- (7) 学習サイクルとしての技術企画

### 2. 『技術企画』のフレームワーク

- (1) 技術をどう捉えるか ～技術の5階層モデル～
- (2) 技術創造のモデル ～リニアモデルとUモデル～
- (3) 技術企画の鍵は、技術をどう定義するか
- (4) 技術企画の実践プロセス
- (5) 自社技術の構造化 ～自社技術に対する理解を深める～
- (6) 未来のイノベーションを構想する3つのアプローチ
- (7) 分野を横断して技術が複合した「機能」を定義する
- (8) 技術創造の戦略シナリオを描く

### 3. 人を育てる組織活動としての『技術企画』

- (1) 技術企画は、技術者、研究者が一皮むける最高の場
- (2) 活動における2つの難所 ～迷いの森と統合の山～
- (3) 企画チームの変化とリーダーシップの関係
- (4) 「やってみる」組織文化をつくる ～経営者の役割～
- (5) 大切にしたい7つのマインド

### 4. 実践事例の紹介

※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。  
※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで  
2種類のセミナーをご案内しております。